

送 辞

ひと雨ごとに春の色が濃さを増し、暖かい春が訪れようとしています。今、旅立ちのときを迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私たちがこの中央中学校に入学してきた四月、何もわからない私たちに一から優しく教えてくださったのは先輩方でした。特にサポート隊の皆さんは、朝早くから放課後まで、毎日私たちの教室に来て、自分たちでしっかり中学校での生活ができるようになるまで何度も丁寧に教えてくださいました。私たちが今こうして自分たちの力で学校生活を送ることができているのは、先輩方の教えがあったからです。ありがとうございました。

先輩方の姿から学んだことはたくさんあります。

生徒会活動、部活動、伝統継承の会など、いろいろな場面で先輩方が自分の思いを語り、学校全体を成長させていく姿が目には焼きついています。また、そうした姿だけでなく、学校のために昼休みなどを使って陰で支える姿も全部私たちのあこがれです。このような活動を見たり聞いたりして学んだことは「人に感謝して行動する」ことの大切さです。人に感謝することで全校の思いを取り入れ、活動することができるのだとわかりました。先輩方に学んだことを胸に、今度は私たち一、二年生が中央中学校をひっぱっていきます。

二年生二百四十二名はもちろん、一年生二百七十四名も全員、それぞれが様々な場面で私と同じように助けられ、私と同じようにあこがれと尊敬の念を先輩方に抱いています。そして今日、先輩方を見送ることに嬉しさと寂しさを感じています。

しかし、今日は先輩方がそれぞれ見つけられた夢への道を歩み始める日です。私たちにできる恩返しは、先輩方の姿を自分たちの姿に生かして行動していく事と、これまで築き上げてくださった中央中学校の伝統を守り、成長させていくことです。新たな旅立ちを迎えられる先輩方のご活躍を、在校生一同いつまでも応援しています。

いつまでも名残はつきませんがお別れのときが迫ってまいりました。

卒業生の皆さんのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げお別れの言葉といたします。

令和三年三月五日

在校生代表 永田 結